

《 旅行記 》

1年4組

私はアメリカに行けると決まってから、本当に私が行けるのか実感がわかなかつたけれど、自分でパスポートの手続きをしてから、段々実感がわいてきました。

出発日の数週間前から、AETの先生が英会話のLESSONを私達にしてくれました。初めのうちは先生が何を言っているのか全くわからなく、きちんと目を合わせて英語を話すことが恥ずかしくて、(こんな私がアメリカに言っても大丈夫か)と、心の中は、不安のかたまりでした。しかし、回を重ねることで少しずつ何について話しているのかは、わかるようになってきて不安が段々とけてきました。そして、私の英語がどのくらい通じるのか試してみたくなりアメリカに行くことが楽しみになってきました。期待で胸がふくらみ、いつも頭の中は、アメリカに行ってからのことばかり考えていました。

出発当日は、父母の見送る中で、一路成田へ乗り継ぎポートランドへ。

成田からポートランドへの飛行機の中では、隣の席の人が外人さんでとても緊張してしまいました。でもその人はとても優しい人で、コートや食べ物など運んでくれたり、目が合うとにっこり笑ってくれたりして、緊張がほぐれました。

しかし、アメリカでの生活のことなど考えると、ドキドキしてしまって、少しもグッスリ眠ることができないままポートランドに着きました。

当日はみんなホテルに一泊する予定だったのが、ホストの人達全員が迎えにきていて、その日から各家庭に行くことを聞かされ、まだ心の準備というものができていなかった私の頭の中は、空っぽになりました。

初めにホストシスターのAyaに会いました。小さくてとても笑顔がかわいい子だなあと思いました。次にお父さんのBobと、お母さんのJudyに会いました。二人とも私をととても歓迎してくれました。それから今回私達がとてもお世話になった伊東先生と挨拶をしました。



空港からは車でこれからお世話になるというMurase家に向かいました。車の中からはとても綺麗な風景が見られました。この日はクリスマスということでお家を色違いの電球で飾ってあったりして、数多くのとてもかわいい家が並んでました。映画の中に飛び込んで来たようで、「本当に私はあのアメリカに来ているんだ」と思って、なんだか信じられませんでした。

20分ぐらいたち、ようやく我が家に着きました。

家ではAyaのふたりのお兄さん(ShawnとScott)が、歓迎してくれました。クリ

[JudyとAyaと私です。会ってすぐ撮りました。]

ーム色のかわいいお家でした。私の“HOST FAMILY”は、お父さんのRobertと、おかあさんのJudyと、お兄さんのShawn（25才）と、お兄さんのScott（23才）そしてAya（15才）の5人家族でした。“Robert”は略して“Bob”と言うのだそうです。

BobとJudyは、1976年まで京都に10年間住んでいたことがあり、少しぎこちないけれど京都弁の日本語を上手に話すことができます。Shawnは今、東京で働いていて、クリスマスからお正月にかけてはポートランドに戻っていました。でも上手に日本語を話せます。しかし、私が英語を学びに来た

のだからと、よく英語で話しかけてくれました。Scottは一年半日本に留学していたということで結構、日本語を話すことができます。私にとっても二人ともとても優しいお兄さんでした。Ayaはごくわずかししか日本語を話すことができません。しかし、とても明るい性格でなんだかAya中心に家の中が明るくなっているようでした。Ayaと話すときは英語だけなので何とか頑張って身振り手振りをしたり辞書を引いたりすればほとんど通じました。初めのうちは、Ayaと話していてわからない言葉があっても聞き流していたことがだいぶありました。もし、聞き返して説明してもらってもどンドンわけがわからなくなってしまうのではないかと不安だったからです。しかし、そんなことをしていても、私のためにはならないと思い、勇気をもって何度も聞き返しました。Ayaは、その言葉についてわかるまで熱心に説明してくれました。わかった時にはAyaも私もとても満足できたし嬉しかったのです。

家の中に入ると大きなリビングルームがありました。びっくりしたことは靴をそのまま履いていなかったことです。お母さんがスリッパを貸してくれました。玄関とは言わないけれどきちんと、しきりがあり靴が並べられていました。横には何を入れるのか分からないけれど日本の大きくて高そうなつぼがありました。

リビングルームには日本のこっとうひんのたんすが3, 4個あり、びっくりしました。なんだか日本のものばかりでアメリカにいるのに、いないようで実感がわかなかたのです。キッチンルームにみんないたのでおみやげを一人一人にあげました。その場で開けて一つ一つ感想を言ってくれて、とても喜んでくれていたので私も嬉しく思いました。

それからトイレやお風呂の使い方を、Ayaに教えてもらいました。トイレとお風呂は一緒になっていてその部屋の鍵はかけてはいけません。なぜかという鍵を掛けると非常時に大変だということからからです。だから、入る時は必ずロックをします。

次にAyaの部屋で去年のアルバムを見せてもらいました。一年生から四年生までみんな写っていました。



[私が3週間お世話になったお家です。]

その日の夜は、クリスマスということであくさんのごちそうが机の上に並べられました。大きなローストチキンがでてきて、あんなに大きなもの初めて見たのでびっくりしました。Bobがそれを切り、皿に並べました。後から知ったのですがチキンはその家の主が初めに切るのだそうです。

全部とてもおいしそうだったけど、食欲が余りなかったし、食べ慣れない味のものもあり、そう思っていたのを気づいてくれたのか「のこしてもいいよ、のこしてもいいよ」と言ってくれたので安心しました。

その日はScottの誕生日ということで夕食の後、Scottの友達が来ました。それから、ケーキができました。みんなで歌を歌ってScottが、ろうそくの火を吹き消しました。日本と同じ形式だったので嬉しかったです。大きなケーキだったけどとてもおいしかったので夕食を残したのにもかかわらず、全部食べました。

Scottの友達は昔、日本人の彼女がいたということで、少しだけ日本語が話せました。いきなり「あなたはトカゲが好きですか」と、聞いてきたので私はびっくりしました。「大嫌いです」と答えただけで、あの質問はどういう意味だったんだろう。

それから、Shawnが“たけしのテレビジョッキー”に出た時のビデオを見ました。みんな日本のジョークを理解していたのか大笑いしていました。

これから学校に通うまでの9日間を振り返ってみたいと思います。

12月26日 今日はお昼まで寝て、起きたらAyaがチアガールの練習に行っていないませんでした。ご飯を食べてからハガキを買いにでかけました。一枚30円くらいでとても安かったです。

今日はちゃんとちゃんのホストシスターのElizabethが泊まりに来ました。みんなでビデオを見たりゲームをして遊びました。夕食はレストランへ行ってハンバーガーを食べました。家に帰ってきてから日本から持っていったお手玉で遊びました。AyaもElizabethも一生懸命練習していました。

12月27日 先生や友達や友達のホストが集まってパーティーが開かれました。みんなと一日会わなかっただけでとても久し振りに思えました。みんなのホストの人とも仲良くなれてとても楽しかったです。

12月28日 Ayaとちゃんと早苗ちゃんのホストのElizabethと四人でダウンタウンへショッピングに行きました。服を中心に回ったのですがとっても安くてジーンズはほとんど日本のよりも半額でした。この日はElizabethの家に泊まりました。

12月29日 今日は家族みんなで日本料理店に行き昼食を食べました。テンプラや焼きそばや、寿司などあったけれど多



[12月28日

ちゃんと私

ダウンタウンにて]

くて食べきれませんでした。夕食には私がすきやきを作りました。材料はANZEN（安全）というお店に行って買ってきました。みんなおいしいと言いながら食べてくれたので嬉しかった。「長ねぎを初めて食べた」と言っていました。Ayaは卵につけないで食べていました。後片付けもほとんど私がやり、手伝う？とも聞いてくれなかったけど、なんだかとてもやりやすかった。夜には映画に行きました。内容は半分くらいしかわからなかったけど、回りの人のリアクションが大きくて、手をたたいたり椅子をドンドンたたいて笑っていてそれを見ているだけでおもしろかったです。

12月30日 朝起きて外を見たら雪が降っていました。ポートランドに来て初めての雪でした。今日はみんな集まってスケートをし、そのあと昼食を食べました。またみんなと会えたので嬉しかったです。いままでの生活のことなど報告し合いました。それからショッピングをしました。今になって“ポートランドにいる”という実感が湧いてきました。今日もっともっと英語をうまく話せるようになりたいと思いました。

12月31日 今日私のおばさんが迎えに来て一緒にシアトルに行きました。4時間かけてAMTRAKという汽車に乗って行きました。隣の席にはおばあさんが座っていて、とても優しくしてくれました。結構、会話ができたのでポートランドに来てから会話が上達したかもしれない。嬉しい。汽車の中から海を見ることができました。しかし、雪でふぶいててよく見えなかったのが残念でした。シアトルの駅ではおばさんのだんなさんが、迎えに来てくれていました。“Samさん”と私は呼んでいました。夕食に大みそかなのでおばさんと私はそばを食べ、Samさんはスパゲッティを食べました。夜中の12時になったら向かいの家から花火の音が聞こえて来ました。

1月1日 今日はおばさんの仕事について行ってシアトル空港に行きました。そのあとワシントン大学に連れて行ってもらいました。とっても広くて広くてきれいなのでこの大学に通ってみたいと思いました。今日Samさんのお父さんの誕生日なのでみんな集まって誕生会が開かれました。紅白歌合戦をTVで見ることができ、何だか懐かしかった。

1月2日 今日は『ツイン・ピークス』という映画のロケ現場に行きました。スノコルミーの滝などを見に行きました。とても大きくてきれいでした。今日チェリーパイを食べただけで、とても甘くてくどくて予想外でした。天気がとても良かったです。

1月3日 今日シアトルからポートランドへ戻りました。家に帰ってからAyaと宿題をやりました。夕方夕食の材料を買うためにFredMayerに行きました。FredMayerに行った時、どこかのおばさんに話しかけられました。2回言ってもらったんだけど、何を言っているのか分からなかったのので「I can't speak English」と言うと、おばさんは「I'm sorry」と言っていました。



[Judyがかき鍋を作っています。]

その時もっともっと英語を聞けたり話せたりできるようになりたいと、強く思いました。夕食にかき鍋を作ってくれました。とってもおいしかったです。